



山はみどり 野に花 人にはこころ

東北の民謡「米節」。歌詞が大好きで、今も、記憶している。**米**という字を分析すれば、八十八度の手がかかる。お米一粒粗末にならぬ、米は我らの親じゃもの。

米のなる木で造りし草鞋（わらじ）踏めば小判の跡がつく、
金のなる木が無いとはうそよ、辛抱する木に金が成る。千代に八千代に変わらぬものは、
尾上高砂曾根の松、わしとあなたは？ 二葉が松よ、色も変わらず末ながく

歌詞の記憶は曖昧だが、米節が思い浮かんだ。



黙々と、作業をされていた。